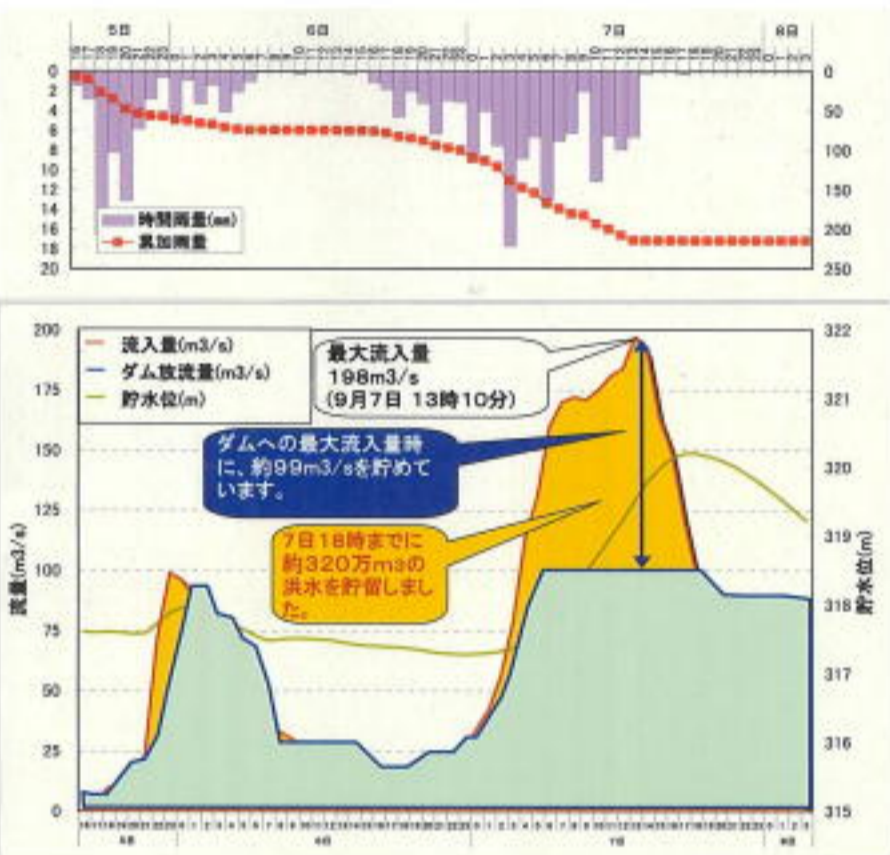


さくら湖管理ニュース

No.70
9月
2007年
発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

台風9号 出水対応

平成19年9月5日昼過ぎから、台風9号の影響により、三春ダム流域内で降り始めた雨は、次第に雨脚が強まり、5日 17時31分大雨洪水注意報、19時47分には大雨洪水警報が発表されました。三春ダムでは、5日 20時00分に洪水警戒体制に入り、関係機関への連絡や気象水象情報の収集、放流設備の点検、下流河川警報巡視を行い、ダムからの放流を開始し、5日 23時20分に流入量が洪水量(100m³/s)を超え、23時30分に最大流入量102m³/sを記録しました。その後、一旦雨は小康状態になり、流入量は低下し始めたものの、これから接近してくる台風9号本体の降雨に備え放流を継続し、洪水調節容量を確保するとともに洪水警戒体制を継続し、台風の接近に備えました。6日夕方から再び降り始めた雨は、台風の接近に伴い雨脚を強め、6日18時15分に再び大雨洪水警報が発表され、流入量も徐々に増加し始め、20時からコンジットゲートの放流を開始しました。その後、台風の動きが遅く、長期間断続的に雨が降り続いたため、7日 3時50分に再び流入量が洪水量(100m³/s)に達し、13時10分に前々日を上回る最大流入量198m³/sを記録しました。三春ダムでは、このとき放流量を99m³/sとし、上回る流量を貯水池に貯め込み、99m³/sのピークカットによる洪水調節を行いました。この洪水調節により下流県道須賀川三春線(郡山市茂平地点)の冠水がまぬがれたと考えられます。今回の洪水は、台風の動きが遅く、強い雨の時間が長期間にわたったことにより近年でも大規模な出水となり、流域平均総雨量208.7mm、貯水池には、総量約320万m³(25mプール約160万杯分)の流水を貯めこみました。



台風9号による降雨に関する三春ダムの洪水調節について



洪水調節効果



洪水時のダム管理

コンジット主ゲート操作前点検説明会 実施

三春ダム流域平均雨量が時間20mm以上又は連続60mm以上を記録したときや、ダム流入量が100m³/Sを超えると予想される時、当管理所では『警戒体制』に入り、コンジット主ゲートを操作しなければなりません。操作前に設備点検を行い、設備操作をしていますが、体制時に、機械設備担当職員が遠方に出かけて容易に帰ってこれない、また、連絡がとれない場合等を想定し、コンジット主ゲートを用いて設備点検の説明会を実施しました。

説明終了後、実際聴講した参加者に練習してもらい万全な対応を確認しました。



説明状況



設備点検説明状況



放流前点検演習状況

今年の植物プランクトン繁殖状況について

今年の藻類繁殖状況について、例年同様に7月中旬から後半に優占藻類として確認されたのは藍藻類アナベナで、貯水池内全域で浮遊が確認されました。

7月後半から8月中旬にかけては、7月中の降雨出水により栄養塩類が流入・蓄積、日射量の増加や水温上昇によって、例年の優占藻類である藍藻類ミクロキスティスの大量繁殖が懸念されましたが、比較的小規模で（浮遊は貯水池内全域で確認できましたが、集積はダムサイト近辺）それに代わり今年は緑藻類ユードリナが優占藻類として貯水池内全域で例年にないほど確認され、約10日間程繁殖しておりました。

8月中旬から8月後半にかけては緑藻類繁殖も沈静化し、代わって優占藻類となったのは藍藻類ミクロキスティスで貯水池内全域で浮遊が確認され、各入江で集積も確認されていますが、例年と比較して繁殖時期が若干遅れており、量的にもそれほど激しい繁殖には至っていない状況となっております。



さくら湖全景 撮影H19.8.24



ダムサイト 撮影H19.8.21

こども新聞豆記者 三春ダム体験取材

～三春ダム管理の10年とダムの役割について学ぶ～

夏休み真っ只中の8月7日（火）三春ダムに元気なこども新聞の豆記者たちが訪れ体験取材が行われました。はじめに記者会見を行い、本で行われる三春ダム体験の内容・スケジュール、三春ダムの概要等の説明を聞き、管理所内にある操作室や水質試験室、湖面巡視や堤体巡視などの体験取材を行いました。実際に放流設備の点検や湖面巡視を体験したことで三春ダムのはたらきや重要性、水の大切さを身近に感じる貴重な体験ができたと思います。今回、豆記者となった子供たちは小学校3年生～6年生で、今年10周年を迎えた三春ダムと同じ位の年齢の子供たちです。自分の年齢に近い三春ダムをより身近に感じることができたのではないのでしょうか。この日、本物の記者の皆さん（テレビ局4社のカメラマンや記者の方々）も取材に同行したので、取材する子供たちがプロの記者に取材されて、時折緊張する場面も見られました。

操作室



見たこともない機械に囲まれた部屋です。説明を聞いているうちにダムを管理するために大切な機械なんだとわかったと思います。

水質試験室

電子顕微鏡でヒヨコダムの体、ミクスを見ました。



湖面巡視



湖面に巡視船が浮かぶと“ウワァ〜”と子供たちの歓声がさくら湖に響きました。



さくら湖から実際に採水して、水の色や臭いを観察しました。

堤体巡視

急な階段を降りて堤体巡視の始まりです。結露で階段が滑りやすく、慎重に進みました。



コンジットゲートの点検です。ダムから放流する際、必ず点検する施設です。

漏水量の点検
岩盤と堤体からしみ出てきた水を30秒間測って、水の量や濁りをチェックしました。



管理橋で堤体といっしょに記念写真



休憩時間に、テレビ局のインタビューにこたえる豆記者ちゃん！



巡視結果を報告し、矢沢所長から“キッズ三春ダム技師認定証”が一人一人に贈られました。

ミーちゃん&れんくんの
なぜ?なに?さくら湖

Q. さくら湖には、いくつの橋がかかっているの?

A. 三春ダム建設でさくら湖周辺には、12の橋が新しく建設されました。その中で最も大きくダム湖の中央に建設され、さくら湖のシンボルとなっているのが春田大橋になります。



皆さんは、いくつの橋をご存知でしたか?
橋を見つけながらドライブやウォーキングを楽しんでみるのも面白いですよ。



三春ダム資料館からのお知らせ

芸術の秋到来!

和服のリフォーム展 開催中 9月27日(木)まで

訪問着や喪服、かすりや帯などの和服の素材がスーツや帽子・バッグなどに形を変えモダンで個性的な洋服へと生まれ変わった作品をご覧ください。



10月3日(水)からは「PATCHWORK うさぎの部屋 仲間展」を開催する予定です。お近くへお越しの際は、ぜひ足をお運びください。お待ちしております



8月の見学者 俳句ポスト作品紹介

- ・ 3日(金) みんなのひみつきち 16名
- ・ 7日(火) キッズ探検隊 30名
- ・ 9日(木) 三春町中央児童館 48名
- ・ 21日(火) 福島大学 40名



三春町中央児童館 見学の様子

水鏡
光
集める

ひぐらしの
鳴き声は
秋近し

ふる里に
さくら湖ありて
心洗わる



編集後記

今月29日に「うつくしまみずウォーク2007」が開催されます。今年の夏も蒸し暑い日が続きましたが、9月に入り日々気温が低くなってきています。初秋の澄んだ空気のさくら湖を散策してみたいかがでしょうか。



(石井)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>